

緑や樹木に関する記事 25-43

彼岸過ぎて 5 万本見頃 はまつフラワーパーク 浜松市中央区

浜松市中央区館山寺町のはまつフラワーパークでは、9 月中旬から咲き始めたヒガンバナが見頃となり来園者を楽しませている。梅園付近で 5 万本ほどの花が赤い絨毯のように染まっている。緑の芝の上で赤い大輪とのコントラストを見せている。同園のヒガンバナは 10 月上旬まで楽しめるという。

(令和 7 年 9 月 30 日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-42

白から紅へ 美に酔って 浜名湖ガーデンパーク 浜松市中央区

一日の間に花の色を変えて咲くスイフヨウが、浜松市中央区村櫛町の浜名湖ガーデンパークで見頃を迎え、来園者を楽しませている。10 月中旬まで楽しめそう。アオイ科フヨウ属の落葉低木で、朝に花を咲かせ夕方にはしぼんでしまう一日花。白からピンク、濃い紅へと色を変える姿が、まるで酒に酔って顔を赤くする様子を思わせることから「酔芙蓉」と呼ばれる。園内の東西水路に架かる「たけ橋」周辺で観察できる。

(令和 7 年 9 月 28 日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-41

南伊豆の桜 次世代へ守り継ぐ 有志で「守人の会」発足 南伊豆町

南伊豆町の桜の保全に向け 27 日、ボランティア団体「みなみの桜守人の会」が発足した。町中心部を流れる青野川沿いに建つ河津桜とソメイヨシノ約 800 本の管理の担い手育成を目指す。

町商工観光課は「多くの木々が植栽から 40 年近く経過した。“老朽化”へ対策が必要な状況」と強調。川沿いの桜の剪定や講習を実施し、ゆくゆくは青野川以外の桜の保全にもつなげたい考え。桜の名所と知られる同じ伊豆半島の河津町の保全団体とも連携を図りたいとしている。

(令和 7 年 8 月 29 日 静岡新聞)

センニンソウ咲く 県立森林公園 浜松市浜名区

浜松市浜名区尾野の県立森林公園で、センニンソウの白い花が咲き始めており、来園者の目を楽しませている。日当たりの良い場所に咲くキンポウゲ科のつる性植物。公園では散策路脇に見られ、直径 3 センチほどの白い小さな花をいくつも付けている。花が終わった後、長い羽上の毛の生えた実ができる。仙人の白髭に見立て、センニンソウと呼ばれている。公園担当者によると、見頃は 9 月第 1 週の週末ごろまで。

(令和 7 年 8 月 29 日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-40

キツネノカミソリ鮮やか 掛川市

掛川市黒侯の泉地区、原野谷川源流付近に群生するキツネノカミソリの花が見頃を迎えた。市道沿いの山裾などが鮮やかなオレンジ色に染まっている。キツネノカミソリはヒガンバナ科で、本州以南に分布。早春に出る細長い葉は初夏には枯れ落ち、8月中旬頃に地中の球根から芽を伸ばして花を付ける。名前の由来は、花の色をきつね火に、細長い葉をかみそりに見立てたなど諸説あるという。

(令和7年8月26日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-39

青空とキバナコスモス共演 はままつフラワーパーク 浜松市中央区

浜松市中央区館山寺町のはままつフラワーパークでキバナコスモスが見頃を迎え、来園者の目を楽しませている。キク科の一年草で、背丈は1メートルほど。黄色の花を咲かせるレモンブライトという品種が園内の数カ所を華やかに彩っている。順次切り戻しを行いながら9月末頃まで見頃は続くという。

(令和7年8月17日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-38

船越堤公園を芝生に 地元児童と住民 苗植え 静岡市清水区

静岡市清水区の船越堤公園でこのほど、芝生の植栽活動が行われた。公園を運営する「船越堤パークカフェプロジェクト」が主導し、地元の清水船越小5、6年生約200人と地域住民約40人が、約1200平方メートルの中央広場に芝の苗を植えた。苗は清水エスパルスの三保練習場から株分けされた。児童は50cm間隔で空けた穴に次々と植え付けた。約2ヶ月で一画が芝生化するという。プロジェクトの代表企業になっている良知樹園(焼津市)の良知正浩代表は「子どもたちが自分で植えることで愛着が生まれると思う。憩いの場になれば」と話した。同小は6年生の総合学習の一環として、12月に「船越万博」と銘打ったイベントを同公園で開催予定という。

(令和7年7月25日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-37

大暑 浜名湖ガーデンパークひまわり見頃 浜松市中央区

22日は二十四節気の大暑。暦の上では1年のうち最も暑い時期とされる。浜松市中央区の浜名湖ガーデンパークでは、約4万本のヒマワリが咲き始めた。ヒマワリは約3千平方メートルある園内中央の「花ひろば」一面に迷路になるように植栽している。同園によると今週末に見頃を迎え8月上旬まで楽しめるという。

(令和7年7月22日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-36

淡いピンク色ハスの花見頃 はままつフラワーパーク 浜松市中央区

はままつフラワーパーク(浜松市中央区館山寺町)内の水鳥の池で、淡いピンク色のハスの花が見頃を迎え、来園者を楽しませている。同園では6月20日に咲き始め、30日には最盛期に。同園によると花の鑑賞は午前中がお薦め。花は7月末まで楽しめそう。

(令和7年7月1日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-35

植物由来繊維で雑草抑制 4区画で実証実験 富士市と日本製紙

富士市と日本製紙(東京)はこのほど、植物由来の繊維「マイクロファイブリルセルローズ(MFC)」を活用して雑草の成長を抑える官民連携の実証実験を市営住宅の空き地で始めた。約2千㎡のエリアを4区画に分け、除草剤などと効果を比較検証する。MFCを使用する区画では、市職員らが剪定枝のチップをまき、その上から水中に分散させたMFCを散布した。MFCは乾くとシート上に変化するため、チップとくっついて「膜」を形成し、雑草の成長や発芽を抑える。

(令和7年6月19日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-34

町ぐるみで「桜」保全へ 南伊豆町

南伊豆町の「みなみの桜と菜の花まつり」は、その名のとおり桜と菜の花が共演する光景が伊豆半島最南端の早春の風物詩となっている。一方、近年桜の保全が課題となっていて、町は官民連携で保全に乗り出した。町中心部を流れる青野川沿いには、河津桜とソメイヨシノ約800本が立ち並ぶ。管理は職員やボランティアにほぼ委ねられていて、近年は立ち枯れや害虫被害が発生している。町は「みなみの桜守人の会(仮称)」の会員募集を始めた。

(令和7年6月18日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-33

ハナショウブ梅雨彩る 修善寺虹の郷 伊豆市

伊豆市の観光施設「修善寺虹の郷」で、ハナショウブが見頃を迎えている。青や白、黄色の花々が梅雨の季節に彩りを添えている。園内の日本庭園には約1万5千株が咲き誇り、和の風情をつくりだしている。

(令和7年6月16日 静岡新聞)

安らぎの大輪 キキョウ開花 香勝寺 森町

キキョウ寺とよばれ県外からの参拝客も多い森町の香勝寺で、キキョウの花が咲き始めている。例年よりも2週間ほど開花が遅れ、14日から境内のキキョウ園が開園した。キキョウは初夏に大輪の花を咲かせ、見た人たちに安らぎを与える花と言われている。同寺では30年ほど前から境内に植えられ、町の名物となっている。

(令和7年6月17日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-32

ユリ圧巻 一面彩る 可睡ゆりの園 袋井市

袋井市久能の「可睡ゆりの園」で、早咲きのユリが見頃を迎えている。約 10 万平方メートルの広大な敷地に黄や白、ピンクといった色とりどりのスカシユリが咲き誇り、来場者の目を楽しませている。また、約 1 万 2 千株のアジサイとユリの共演も人気を集めているという。

(令和 7 年 6 月 13 日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-31

県内梅雨入り

気象庁は 9 日、静岡県を含む東海地方が梅雨入りしたとみられると発表した。平年より 3 日遅く、昨年より 12 日早い。

雨にぬれるアジサイ 浜松市中央区

浜松市中央区のはままつフラワーパークでは、約 52 品種、3 千本ほどのアジサイが見頃を迎えている。

大鐘アジサイ色鮮やか 1 万株 牧之原市

江戸時代の庄屋屋敷「大鐘家」(牧之原市片浜)で「あじさい祭」が開かれている。35 種類以上、1 万株のアジサイが色鮮やかに咲き乱れている。

(令和 7 年 6 月 10 日 中日新聞)

アジサイ 2000 株色づく 沼津御用邸 沼津市

沼津市の沼津御用邸記念公園で、アジサイが色づき始めている。セイヨウアジサイやガクアジサイなど約 2 千株が植栽され、来場者の目を楽しませている。

ハナショウブ 8 万本見頃 小国神社 森町

森町一宮の小国神社境内にある、「一宮花しょうぶ園」で、ハナショウブが開花のピークを迎えている。約 2900 平方メートルに江戸系と伊勢系、肥後系を中心に約 80 種 8 万本が植栽されている。

(令和 7 年 6 月 10 日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-30

初夏の熱海 映える薄紫 ジャカランダ見頃 熱海市

世界三大花木の一つ「ジャカランダ」の鑑賞を楽しめるフェスティバルが 15 日まで、熱海市東海岸町の熱海サンビーチに隣接する遊歩道で開かれている。涼しげな薄紫色の花が見頃を迎え、初夏の熱海の街に彩りを与えている。ジャカランダは熱帯地域に分布する花木で、熱海には 1990 年代にポルトガルの姉妹都市・カスカイス市から伝来した。同遊歩道と近くの親水公園を中心に、約 140 本が植栽されている。

(令和 7 年 6 月 6 日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-29

アジサイ 紫や白 楚々と 下田市

国内有数のアジサイ群生地として知られる下田市の下田公園で6月1日、「第54回あじさい祭」が開幕。300万輪に上る楚々としたアジサイの数々が初夏の観光客を出迎える。既に一部は紫色や白色の花を咲かせているが、市観光協会による見頃は例年並みの6月中～下旬と見込まれる。

(令和7年5月31日 静岡新聞)

ブーゲンビリア 川辺を華やかに 糸川 熱海市

熱海市の中心街を流れる糸川沿いで、中南米原産のブーゲンビリアが見頃を迎えた。初夏の訪れを華やかに演出し、観光客を楽しませている。ブーゲンビリアはオシロイバナ科の熱帯性低木。糸川の御成橋から糸川橋までの180メートル区間に、川を覆うように植栽されている。赤やマゼンダ、紫色の花びらのように見える部分は葉で、その中央の白い部分が花という。

(令和7年6月1日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-28

秋篠宮さま 浜松訪問 フラワーパークを視察

秋篠宮さまは27日、総裁を務める日本植物園協会の第60回大会に出席するため、浜松市を訪問された。退会に先立ち、同市中央区のはままつフラワーパークも視察した。同園などによると、秋篠宮さまが同パークを訪れるのは5回目。植物でつくる立体造形物「モザイカルチャー」の大型作品などを見て回り、施設の指定管理を担う市花とみどり振興財団の塚本こなみ理事長らの説明に熱心に耳を傾けた。

(令和7年5月28日 静岡新聞)

ハナショウブ最盛期 加茂荘花鳥園 掛川市

掛川市原里の加茂荘花鳥園でハナショウブが最盛期を迎えている。同園によると、約5千平方メートルの敷地で約100品種、10万株以上が見頃となり、一面を白やピンク、紫などで彩っている。5月初旬に咲き始めており、花の状態はここ数年で最も良いという。見頃は6月中旬ぐらいまで続く。

(令和7年5月28日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-27

ハナショウブ「見頃」リレー 磐田市

江戸時代に造り酒屋として栄えた磐田市壱貫地の庄屋屋敷「花咲乃庄」(国登録有形文化財)でハナショウブが見頃となってきた。見頃は6月中旬まで続く。小さな池がある母屋北側の庭園には、早咲きから遅咲きまで約20種、100株ほどが植えられている。

(令和7年5月24日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-26

龍潭寺 サツキ映える 浜松市浜名区

龍潭寺 映えるサツキ 浜松市浜名区国指定名勝の龍潭寺庭園(浜松市浜名区引佐町井伊谷)で、サツキが見頃を迎えている。寺によると、6月初旬まで楽しめそう。江戸時代初期に造られた池泉式庭園はパノラマ状に広がり、新緑に交じって赤紫色の花々が彩っている。

(令和7年5月22日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-25

旧ヴァンジ彫刻庭園美術館活用法探る 長泉町

芝生が広がる庭園を白いバラや青いクレマチスなどの花々が彩る旧ヴァンジ彫刻庭園美術館(長泉町)。2023年の閉館後、町は所有する県や地元企業と連携し、保全管理を兼ねたワークショップなどを実施し、活用法を探る。町は昨夏から、園内の池の清掃を兼ねた水中生物観察会やクレマチスの手入れを利活用推進事業として開催。ながいずみ観光交流協会や富士山静岡交響楽団などと催しも重ねてきた。同館は昨年2月、運営団体から県に無償譲渡された。県は東部・伊豆地域の文化拠点として位置付け、民間事業者から施設を再生する新たな活用法のアイデアを広く募っている。

(令和7年5月21日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-23

県内各地の園庭で、バラが見頃を迎えました。

妻への思い 命は巡る「ばらの都苑」浜松市中央区

浜松市中央区花川町の「ばらの都苑(みやこえん)」で、ばらが見頃を迎えた。広大な敷地に300種、約1500株のバラが咲き誇り、大勢の人でにぎわっている。バラ園は入場無料。25年前に苑主の天野さんが、急逝した妻の供養にしようと、生前に好きだったバラを植えてオープンさせた。1人で世話をし、毎年約1万人が訪れる名所になっている。

(令和7年5月14日 中日新聞)

住民が丹精 バラ最盛期 新居文化公園 湖西市

磐田市出身の造園家、中根金作さん(1971~95年)が整備に携わった湖西市の新居文化公園の一角で、早咲きのバラが見頃を迎えた。

(令和7年5月15日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-22

華麗な春バラ見頃 広見公園 富士市

富士市伝法の広見公園で市民の花「バラ」が見頃を迎えた。朝から青空が広がった8日は、多くの来園者がピンクや赤、白、黄など色とりどりの花と、辺りに漂う甘い香りを楽しんだ。公園を管理する富士市振興課によると、市オリジナル品種「かぐや富士」をはじめ、約1500品種、約2000本が植えられている。

(令和7年5月9日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-21

三保松原 松葉かきに汗 静岡市清水区

静岡市清水区の市立清水三保一小、清水三保二小、清水五中はこのほど、三保松原で松葉かきを行った。3校の全児童・生徒約400人が、地域が誇る世界文化遺産の保全に取り組んだ。三保松原の景観を維持するには、土壌の栄養分となる落ちた松葉を取り除き、松以外の植物が育ちにくい環境を保つ必要がある。

(令和7年5月4日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-20

バラ園をライトアップ 夜も美しく 富士市

富士市中央公園で29日夜、市民の花「バラ」のライトアップが始まった。春バラの最盛期に合わせた恒例イベントで、5月18日まで実施する予定。潤井川を挟んで西側エリアにあるバラ園を街灯で照らす。対象区域には、富士山の雪のように白い同市のバラ「かぐや富士」をはじめ195種類、約900本が植えられている。

ツツジ 色とりどり 熱海市

熱海市伊豆山の姫の沢公園で5月6日まで、大型連休に合わせた「つつじ・こいのぼりまつり」(姫の沢公園パートナーズ主催)が開かれている。園内の斜面一帯にピンクや紫、白などのツツジ6万株が植栽され、30日現在五分咲き程度となった。

以上2件(令和7年5月1日 静岡新聞)

ツツジ苗木10本 緑の少年団植樹 秋葉山林道脇 浜松市天竜区

浜松市天竜区の「龍山・滝川緑の少年団」のこどもたちが29日、同区龍山町の秋葉山に、ドウダンツツジの苗木10本を植樹した。新年度の最初の活動として30年前から続く恒例行事で、団員9人のうち6人が出席。林道脇に穴を掘り、高さ1メートルほどまで伸びた苗木を植えて、肥料と水をまいた。

(令和7年5月1日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-19

富士山に豊かなブナ林を 市民ら苗木2千本を植樹 富士市

富士市は29日、富士山麓ブナ林創造事業を同市大淵で開いた。協賛企業従業員や市民ら約400人がブナやケヤキ、ヒメシャラ、イロハモミジなどの苗木計2千本を市有林に植樹した。参加者はスコップを手に約1万平方メートルの植栽区域に広がり、苗木を植えて近くに支柱を立て、ひもで結んで固定した。

ミシマバイカモ愛らしく 三島市

県の絶滅危惧種に指定されているミシマバイカモが、三島市南本町の群生地「三島梅花藻の里」で見頃を迎えた。同市のNPO法人グランドワーク(GW)三島が整備し始めて30年。今年も梅に似た白くかわいらしい花が咲き、来場者の目を引いている。

以上2件(令和7年4月30日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-18

甘い香り 揺れるフジの花 行興寺 磐田市

磐田市池田の行興寺で「熊野の長藤」の名で知られるフジの花が見頃を迎え、訪れる人たちを楽しませている。境内には国の天然記念物に指定されている樹齢 850 年を超える長藤のほか、県指定のフジも 5 本が植えられている。平安時代にこの地ゆかりの熊野御前が植えたと伝わる長藤や藤棚は、春先の低温もありやや生育が遅れたが、このところの暖かさで次々と開花。境内一杯に甘い香りを漂わせている。

(令和 7 年 4 月 26 日 中日新聞)

クレマチスきれいに咲いて 旧ヴァンジ美術館 長泉町

県と長泉町などが 5 月下旬に旧ヴァンジ彫刻庭園美術館(同町)の利活用推進策として開くイベントを前に、庭園を彩るクレマチスの花々を整えるワークショップが開かれた。町から依頼を受けたクレマチスを販売するクレマコーポレーション(同町)が主催した。県内外から 10 人が参加し、雑草と絡まったつるをほどき、花が付きやすく、成長しやすくなるように仕立てた。

(令和 7 年 4 月 26 日 静岡新聞)

揚げばさらり はままつフラワーパーク 浜松市中央区

はままつフラワーパークでフジが見頃を迎えた。恒例の夜間のライトアップでは、幻想的な光景が広がった。園内には長さ 80 メートルほどのフジ棚もあり、ライトに照らされ、輝いているように見える花を熱心に撮影する来園者も見られた。

(令和 7 年 4 月 28 日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-17

咲き誇るフジ鮮やか はままつフラワーパーク 浜松市中央区

「浜名湖花フェスタ」を開催中のはままつフラワーパーク(浜松市中央区)で 24 日、恒例の藤棚のライトアップが始まった。咲き誇るフジの花が闇夜に浮かぶ幻想的な光景が来園者を魅了する。見頃を迎えているノダナガフジの藤棚は下を歩けるようになっていて、長さは 80 メートル。シロフジやホンベニフジも開花が始まり、これから見頃を迎える。

紫や白、花々織りなす“小川” 修善寺虹の郷 伊豆市

伊豆市の観光施設「修善寺虹の郷」でフジの花が見頃を迎え、色とりどりの棚が鮮やかな“小川”のような光景となり来場者の人気を集めている。施設内の日本庭園で約 250 メートルにわたり、紫色のノダフジや白色のショウワシロフジなどが植栽されている。

(令和 7 年 4 月 25 日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-16

フルーツパークで見頃 浜松市浜名区

白色の愛らしいリンゴの花が、はままつフラワーパーク時之栖(浜松市浜名区都田町)で見ごろとなっている。同園では 8 種 600 本のリンゴの木が植えられ、1 週間ほど前に開花。2 メートルほどに高さが揃えられた木には一斉に花が咲いた。つぼみはピンク色だが、開花が進むと白くなっていくのが特徴だ。

(令和 7 年 4 月 24 日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-15

春風に揺れ 長藤見ごろ 牧之原市

牧之原市静波の東光寺で、樹齢 110 年以上で根回りが 4 メートルある市天然記念物の長藤の花が咲き、見ごろを迎えた。薄紫色の花が風に揺れている。長藤は、1915 年に当時の住職が磐田市の行興寺の「熊野の長藤」の枝を接木して育てたのが始まりとされている。現在 5 分咲きで、天候次第だが月末まで楽しめそう。

一方、吉田町片岡の林泉寺では、東光寺から接ぎ木された長藤が満開を迎えている。1967 年に東光寺から譲り受け接ぎ木した。20 メートル四方の藤棚では、無数の花々がかれんに咲いている。

(令和 7 年 4 月 23 日 中日新聞)

早咲きシャクナゲ色鮮やか 天城グリーンガーデン 伊豆市

伊豆市湯ヶ島の天城グリーンガーデンでシャクナゲが見頃を迎え、来園者を楽しませている。同園は約 500 種類のシャクナゲ約 1 万 3000 本を植栽し、1985 年にオープンした。4 月中旬から 5 月上旬にかけてさまざまな種類が咲き誇る。今季の開花は例年並み。広さ約 5.8 ha の園内には「タイヨウ」などの早咲き種が花開き、ピンクや白など鮮やかな光彩を放っている。

(令和 7 年 4 月 23 日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-14

鑑真ゆかり「瓊花」甘く香る 井上靖文学館 長泉町

長泉町の井上靖文学館の庭で、全国 9 箇所のみで楽しめると思われる「瓊花(けいか)」が見頃を迎えている。鑑真を題材にした井上の著作「天平の甕(いらか)」にちなみ、12 年前に植樹された。瓊花は鑑真ゆかりの中国揚州市の市花で甘い香りが特徴。同館の瓊花は、鑑真が上陸した佐賀県の県立森林公園の瓊花が親株という。

進化する花壇色鮮やか 東大場花の会 20 周年 三島市

今年発足 20 周年を迎える三島市東大場花の会の地域花壇が見頃を迎えた。約千平方メートルの敷地にある 17 箇所の花壇に色とりどりの花が咲き、地域内外からの来場者を楽しませている。現在はネモフィラやリナリア、ビオラ、キンギョソウなど合計 5 千株以上が青や黄、白、紫、赤、ピンクといった色鮮やかな花を咲かせる。5 月上旬までは見頃は続くという。

以上 2 件(令和 7 年 4 月 22 日 静岡新聞)

トキワマンサク ライトアップ 湖西市

北限の群生地として県の天然記念物に指定されている湖西市神座のトキワマンサクが見頃を迎えている。19 日夜、満開の花を付けた木々がこの日限定でライトアップされ、多くの人を訪れた。トキワマンサクは中国やインドが原産地。日本の群生地は神座地区、三重県の伊勢神宮、熊本県荒尾市の 3 箇所のみとされる。

(令和 7 年 4 月 22 日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-13

大輪豊かに 小国神社 森町

森町一宮の小国神社でシャクナゲが見頃を迎えている。境内や本殿脇を流れる宮川の近くの丘では 18 日、数十本が白や薄いピンク色の花をつけている。シャクナゲは多くの品種が作り出されている。一つの枝に複数の大輪の花を咲かせるのが特徴。

(令和 7 年 4 月 19 日 中日新聞)

小室山 ツツジ鮮やか 伊東市

伊東市川奈の小室山公園つつじ公園で 30 日まで、春恒例の「つつじ鑑賞会」が開かれている。計 40 種、10 万株のツツジが徐々に色づき始め、華やかな雰囲気を出している。3 万 5 千平方メートルの園内で紅、白、ピンクのツツジがあちこちで開花し、一部では見頃を迎えた。

(令和 7 年 4 月 20 日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-12

新緑の季節 80 匹スイスイ あらさわふる里公園 御前崎市

里山に囲まれた御前崎市下朝比奈の「あらさわふる里公園」の空に、大小約 80 匹の色鮮やかなこいのぼりが泳いでいる。さまざまな花が咲き誇る園の入口付近に 5 月 21 日まで飾られ、来園者に新緑の季節を知らせている。園内ではネモフィラやチューリップ、八重桜などが見頃を迎え、4 月下旬からはピンクや赤色の約 5 千本のツツジが咲き始めるという。

(令和 7 年 4 月 18 日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-11

富士山麓のレンゲ畑 新幹線と鮮やか共演 富士市

富士市東部市民プラザ周辺の田んぼで、レンゲソウが開花した。ピンク色のかれんな花が一面に広がり、春の訪れを告げている。景観づくりや緑肥として、田植え前の 4～5 月に出現する田園風景。レンゲ畑の間を新幹線が疾走する。抜けるような青空が広がった 16 日には、雪化粧した富士山が山頂から裾野まで久しぶりに全身を現し、鮮やかな「花のじゅうたん」との共演が実現した。

春らんまん彩りかれんに サイクルセンター 伊豆市

日本サイクルスポーツセンター(伊豆市)の花壇のチューリップが見頃を迎えた。五輪競技が行われた伊豆ベロドロームを模した楕円形の花壇に赤やピンク、黄色など色彩豊かな花が咲いている。直径 17 メートル、短径 6.3 メートル。球根は 4400 球で、スタッフが昨年末に植えた。ベロドロームの計上に近づけようと土を立体的に盛り上げたという。

以上 2 件(令和 7 年 4 月 17 日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-10

黄色と緑の「春」見頃 伊豆市

伊豆市八木沢の丸山スポーツ公園で、黄色の「ウコン桜」と緑色の「御衣黄桜」が見頃を迎えている。

三島彩る花壇コンクール あすまで審査 三島市

本年度の三島市花壇コンクール(市主催)の現地審査が15日、市内で始まった。市職員と三島花の会、花サポーターみしまの代表者ら審査員7人が17日まで、市民が丹精込めて育てた地域花壇を見て回る。学校や企業、自治体などから55件の応募があった。幼稚園や小学校、団体、個人など7部門で優秀作品を決め、5月28日に表彰式を行う。

以上2件(令和7年4月16日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-9

クマガイソウ紫褐色の花 見頃 掛川市

掛川市倉真で、環境省のレッドリスト絶滅危惧Ⅱ類に指定されているラン科の多年草、クマガイソウの花が見頃を迎えた。袋状の花、唇弁(しんべん)が特徴。クマガイソウの名は、武士が矢を防ぐために背負った母衣(ほろ)に唇弁が似ていることから、源平合戦の武将熊谷直実になんで付けられているという。倉真の杉林で自生が確認され、住民有志が一昨年春に保存会を結成し、生育のよくない他の場所から移植した株も加え計約500株を管理しているそうです。

(令和7年4月15日 中日新聞)

お待たせ フジ開花宣言 蓮華寺池公園 藤枝市

藤枝市は14日、同市の蓮華寺池公園でフジの開花を宣言した。昨年より6日遅い。日本樹木医学会支部長の大石春夫さんによると、見頃は市最大のイベント「第42回藤まつり」が始まる19日ごろに迎える見通し。池の南西にある標本木で大石さんが開花を確認し、北村市長が宣言した。フジの開花宣言は、市が2021年に独自基準を設けた。標本木で5輪以上の花が咲いた房を5本確認できたタイミングとしている。

(令和7年4月15日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-8

季節の花散歩道に 赤白ハナモモ誘うよ 浜松市天竜区

天竜川沿いに季節の花が咲く散歩道をつくろうと、浜松市天竜区伊砂の伊砂ポートパークに9日、地域の行政・商工関係者と一般の来訪者らがハナモモの苗木16本を植えた。植樹した場所は、天竜川の船明ダム湖にかかると「夢のかけ橋」たもとの川面を見渡せる広場。遊歩道に沿って赤と白の花が咲く苗を植え、スコップで土をかぶせ、水をやって獣害防止のネットを施した。ポートパークに対岸には「天竜相津花桃の里」があり、毎年350本のハナモモが咲き誇る。

(令和7年4月13日 中日新聞)

春咲き誇る花々

ミツバツツジの大樹見頃 村山浅間神社 富士宮市

富士宮市村山の村山浅間神社で、古木のミツバツツジのかれんな紅色の花が見頃を迎えた。元神社責任総代の山本哲さんによると、20日頃まで満開を楽しめそう。

シャクナゲ色とりどり 修善寺虹の郷 伊豆市

伊豆市の観光施設「修善寺虹の郷」でシャクナゲが見頃となり、来場者を楽しませている。園内の「しゃくなげの森」で約150種2000本を植栽していて、開花のタイミングが異なるため5月上旬まで楽しめるという。

以上2件(令和7年4月13日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-7

獣害対策実り ミズバショウ群生「オクシズ」春の風物詩“復活” 静岡市葵区

静岡市葵区の「高山・市民の森」でこのほど、野生動物の食害で数を減らしていたミズバショウの花が“復活”し、かれんな姿が訪れた人たちを喜ばせている。管理組合による獣害対策や株の移植などの努力が実った。竜が住んでいたという伝承が残る「高山の池」のミズバショウは、JA 静岡市の女性部が 1995 年に群馬県片品村から譲り受けた株を植栽したのがはじまり。2022 年に、ニホンジカやカモシカによる食害を受けたことから、池の周囲約 100m に高さ 1.8m のネットを張り巡らせたり、近在の集落で栽培していたミズバショウの株を移植するなどの整備も行い、名所復活を進めてきたという。

(令和 7 年 4 月 11 日 静岡新聞)

天下一花の梅 高遠城址 長野県伊那市

長野県伊那市の高遠城址公園で、「天下第一の桜」と称される約 1500 本のタカトウヒガンザクラが見頃を迎えている。寒波などの影響で平年より 2 日遅い 4 日に開花した。満開は 11 日ごろの見込み。

(令和 7 年 4 月 11 日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-6

青いじゅうたんネモフィラ見頃 浜名湖ガーデンパーク 浜松市中央区

「浜名湖花フェスタ」を開催中の浜松市中央区の浜名湖ガーデンパークで、約 30 万本のネモフィラが見頃を迎えている。一面に広がる“青いじゅうたん”が来園者を魅了している。ネモフィラは北米原産のムラサキ科の一年草。直径 2 センチほどのかわいらしい花を咲かせる。

(令和 7 年 4 月 10 日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-5

一目千本 奈良・吉野山 奈良県

山肌を埋め尽くすように桜が咲き誇る光景から「一目千本」とたたえられる吉野山(奈良県吉野町)で 8 日、桜が見頃を迎え、山肌を華やかなピンク色に染め上げた。神木として保護されてきた吉野山の桜は、シロヤマザクラを中心に約 200 種 3 万本あるとされる。麓から山上にかけて大きく四つの密集群に分かれ、順々に開花する。吉野町によると、標高の低い密集群落「下千本」は 8 日に満開を迎えた。さらに山上に位置する「中千本」「上千本」も徐々に満開に近づき、一番標高の高い奥「奥千本」は 15 日に満開になる見込み。

(令和 7 年 4 月 9 日 中日新聞)

緑や樹木に関する記事 25-4

静岡で桜満開 昨年より 5 日早く 静岡市駿河区

静岡地方気象台は3日、静岡市駿河区の気象台敷地内で桜(ソメイヨシノ)の満開を観測したと発表した。例年より1日遅く、昨年より5日早かった。葵区の駿府城公園では、園内の本丸堀の周りに咲くソメイヨシノなどの桜が見頃を迎えた。

「世界一美しい」春 ソメイヨシノとチューリップ 浜松市中央区

「浜名湖花フェスタ 2025」が開催中ののはまつフラワーパーク(浜松中央区)で、ソメイヨシノとチューリップが見頃を迎えている。同園が「世界一美しい」とうたう花の共演が園内を楽しませている。ソメイヨシノを中心に八重桜など計1300本の桜とチューリップ約50万球が植栽されている。

田んぼ彩る花々 サクラ並木と共演 松崎町

松崎町の春の風物詩イベント「田んぼをつかった花畑」が見頃を迎え、訪れた人々は菜那賀川沿いの桜並木との共演を楽しんでいる。白と紫が美しいヒメキンギョソウやかれんなルリカラクサが見頃を迎えている。

夜桜ライトアップ幻想的に

駿河湾を望む景勝地・沼津市戸田で、桜並木を照らす2箇所のライトアップが人気を集めている。地域を流れる大川沿いでは13日まで、約200m続くソメイヨシノに光が当てられている。

以上4件(令和7年4月4日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-3

春らんまん各地で桜見頃

秋葉ダム 8キロの並木湖畔彩る 浜松市天竜区

浜松市天竜区龍山町の秋葉ダム湖畔を彩る「千本桜」が満開となり、訪れた行楽客を楽しませている。天竜川沿いの南北8kmにわたってソメイヨシノの並木が咲き誇っている。

香貫山 多種多彩な花咲き誇る 沼津市

山頂からの眺望や散策が人気の沼津市の香貫山で、桜が見頃を迎えている。ソメイヨシノやヤマザクラ、オオシマザクラなどが咲き誇り、登山者を楽しませている。香貫山には、約2400本の桜があり、5~6日にピークを迎えると見込む。

佐野美術館 樹齢100年のしだれ 満開 三島市

三島市中田町の佐野美術館の回遊式庭園では、樹齢約100年のしだれ桜が満開に。淡いピンク色の花が国登録有形文化財の日本家屋「隆泉苑」や灯籠と相まって美しい景観をつくりだしている。

以上3件(令和7年4月2日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-2

ツツジと桜 豪華共演 浜松市浜名区

地元で「お不動さん」と呼ばれ親しまれている浜松市浜名区平口の不動寺で、ミヤマツツジが見頃を迎えている。今年は例年に比べ開花が10日ほど遅れたため、ソメイヨシノとコラボレーション。思いがけない共演で、訪れた人々を楽しませている。

(令和7年4月2日 中日新聞)

浮かぶ夜桜 華やぐ小山城 吉田町

吉田町片岡の能満寺山公園の桜が夜間、ライトアップされている。展望台小山城を背景に美しく照らされる夜桜を見ようと多くの地元住民が訪れた。園内のソメイヨシノ約 30 本を照らしている。

淡紅色の並木 見物客魅了 徳山の桜見頃 川根本町

川根本町徳山の桜が見頃となり、見事な淡紅色の花を咲かせている。1 日は花曇りの下、多くの見物客や地元住民が訪れ、散策や写真撮影を楽しんだ。徳山コミュニティー防災センターから徳山神社まで、約 300m 続く桜並木を筆頭に、各地でしだれ桜やソメイヨシノを見ることが出来るという。

以上 2 件(令和 7 年 4 月 2 日 静岡新聞)

緑や樹木に関する記事 25-1

桜の古木咲き誇る 樹齢 300 年 家山の水目桜 島田市

島田市川根町家山の一本桜「牛代(うしんしろ)の水目桜(みずめざくら)が見頃を迎えている。牛代の水目桜は樹高約 20m。推定樹齢 300 年を超えるエドヒガンで、市の天然記念物に指定されている。

(令和 7 年 4 月 1 日 静岡新聞)

ミヤマツツジ 正太寺で咲く 湖西市

湖西市入出の正太寺でミヤマツツジの開花が進み、境内が紫色に染まっている。4 月上旬まで見られるという。浜名湖畔の高台にある寺の散策路沿いに数百本のミヤマツツジが植えられ、眼下に広がる湖の眺望とともに楽しめる。

(令和 7 年 4 月 1 日 中日新聞)